



小中一貫教育「小小連携」の取組から

校長 仙北谷 仁策

少々前の話になりますが、9月14日（水）から16日（金）の3日間、5年生が清里移動教室に行ってきました。思い起こせばこの9月は雨がとても多く、東京では日照時間も記録的に少なかったというニュースも記憶に新しいところです。しかし、その期間の甲信越地方は天候に恵まれ、雨が降ったのはトイレ休憩に立ち寄った、行きの談合坂SAのみでした。予定していた飯盛山ハイキング（昨年度は雨で中止でした！）やナイトハイク、また八ヶ岳ふれあいファームでの酪農体験など、雨天による変更や中止もありませんでした。

さて、この清里移動教室は昨年度より小中一貫教育の「小小連携」の一環として、羽村第二中学校区にある3つの小学校である富士見小、栄小、そして本校の3校合同で行っています。昨年度は初めてということもあり、やや手探りで計画を立てて実施をしましたが、その成果や課題を踏まえ、本年度は昨年度より充実した取組になるように、各校の5年担任が綿密に打合せを行い、移動教室の初日を迎えました。

1日目は「出会い」でした。清泉寮でおいしいソフトクリームを食べましたが、そのあと少し時間があつたので近辺を散策する機会がありました。ちょうどそのときに、富士見小は八ヶ岳ふれあいセンターでの体験学習、栄小は宿舎から清泉寮近辺まで散策と、いずれも近くにいるタイミングが重なり、期せずしてお互いに顔を合わせる事となりました。また、その日の夕食は食堂に集まり、同じ時間に同じ場所で食事をとりました（以降、宿舎での食事はいずれも3校合同でした）。「いただきます」の挨拶を前に、担任や引率の管理職の紹介もありました。

2日目は「交流」でした。まずは体育館での合同朝会から始まりました。松林小が担当だったので、私は総勢200名近い3校の子供たちを前に、「校長先生の話」をすることになりました。内容としては「3校の子供同士だけでなく、子供と先生、先生同士も挨拶をし合って、よりお互いを知り合いたい」というものでした。また、前日の夕食時に引き続き、各校の残りの引率教員の紹介がありました。そして、その日のメインの交流である、前述の飯盛山ハイキングとナイトハイクを行いました。ハイキングは富士見小1組→栄小1組→松林小1組→富士見小2組→栄小2組という順である程度学校ごとに固まって歩きましたが、みんなで飯盛山の頂上を目指し、声を掛け合い、励まし合いながら頑張りました。また、ナイトハイクは文字どおり「3校混合」のグループで行いました。各校で随行しているカメラマンにもご協力いただいて、ポイントポイントで各校の先生たちが趣向を凝らして子供たちをびっくりさせるといふ、思い出に残る肝試しになりました。

3日目は再び会う日までの「お別れ」でした。3日間の宿舎での生活をとおして、子供たちは挨拶もすすんでしっかりとでき、少しでも顔見知りになることができたと感じています。この5年生は3年生時に羽村市について調べ、まとめた学習成果物を学校間で交換し合う（間接交流）ことから始まり、昨年4年生では富士見小に集まって玉川上水の学習発表会で初めて顔を合わせ（直接交流）、この5年生での合同移動教室を経て、来年度は6年生として、実際に羽村第二中学校で部活動体験や体験入学の際に再会することになります。

さて、本日10月3日（月）から後期が始まりました。子供たちには、前期に身に付けた力をさらに伸ばしてほしいと願っています。また、上に書きましたように、二中校区の「小小連携」のプログラムに倣い、今年度の3年生、4年生、そして6年生もこの後それぞれの「小小連携」の取組が行われます。このように年間の教育活動に根付いている小中一貫教育の具体的な取組をはじめ、後期には遠足や校外学習、音楽発表会、6年生を送る会や卒業式などの大きな行事もあります。我々教職員もさらに一致団結して、松林小の子供たちのよいところを認め、頑張りを励ましながらか、教育活動を進めていきたいと考えています。前期に引き続き、後期についても保護者、地域の皆様のご理解とご協力をいただければ幸いです。前期中に引き続き、後期についても保護者、地域の皆様のご理解とご協力をいただければ幸いです。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

<水筒の取扱いについて>

だいぶ涼しくなってきたことでもありますので、水筒持参については前期をもって終了とします。この間、熱中症対策としてご理解、ご協力いただきありがとうございました。

